# １．　評 価 結 果 概 要 表

作成日　平成２０年１月３１日

【評価実施概要】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 4590100105 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人愛鍼福祉会 | | |
| 事業所名 | グループホームシルヴァーリージャ | | |
| 所在地 | 宮崎県宮崎市大字加江田４５４０番地３<br>（電　話）0985-65-2330 | | |
| 評価機関名 | 社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 宮崎県宮崎市原町２番２２号 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年12月13日 | 評価確定日 | 平成20年1月31日 |

【情報提供票より】（平成１９年１１月２１日事業所記入）

（１）組織概要

| | | |
|---|---|---|
| 開設年月日 | 昭和・(平)成１９年４月１日 | |
| ユニット数 | １ユニット | 利用定員数計　9　人 |
| 職員数 | 12 人 | 常勤８人，　非常勤４人，　常勤換算７．２５人 |

（２）建物概要

| | |
|---|---|
| 建物構造 | 木造　造り |
| | １階建ての　～1　階部分 |

（３）利用料金等（介護保険自己負担分を除く）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 家賃（平均月額） | 30,000　円 | | その他の経費（月額） | 実費　円 |
| 敷　金 | 有（　円） | | (無) | |
| 保証金の有無<br>（入居一時金含む） | 有（　円）<br>(無) | | 有りの場合<br>償却の有無 | 有　／　無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり　1,300　円 | | | |

（４）利用者の概要（平成１９年１１月２１日現在　）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 利用者人数 | | 9 名 | 男性　2 名 | 女性 | 7 名 |
| 要介護１ | | 2 | 要介護２ | 4 | |
| 要介護３ | | 2 | 要介護４ | 1 | |
| 要介護５ | | 0 | 要支援２ | 0 | |
| 年齢 | 平均 | 86.7 歳 | 最低　84 歳 | 最高 | 91 歳 |

（５）協力医療機関

| | |
|---|---|
| 協力医療機関名 | 山元リハビリテーションクリニック、なかやま歯科医院 |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは県道に面し広い敷地の中にあり、居室からは渡り鳥が飛来する海岸、反対側は電車の往来が見え穏やかな風景の中にある。開所してまだ８か月のホームであるが、光あふれるホーム、敷地内の菜園、木陰に用意されたいすで職員と利用者が寄り添いのんびりと生活している。母体施設が今までに培った地域との関わりを十分に生かし、管理者と職員が細かな事でも十分に話し合ってよりよいケアに取り組んでおり、それが利用者の心身の向上にもつながっている。また、小規模多機能型居宅介護事業所が併設していることもあり、地域密着型サービスの役割を果たそうとする強い姿勢がみられる。

| | |
|---|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4） |
| | 平成１９年４月開設で今回が初めての外部評価である。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4） |
| | 各職員がそれぞれ評価を実施し、それを基に評価表を作成している。その段階で外部評価の意義や目的を理解するため話し合いを持っている。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6） |
| | ホームの取り組み状況を報告して、グループホームの理解を進めている。地域の要望や意見を聞きそれに前向きに取り組んでいる。地域へサービスの還元ができるよう模索し取り組む姿勢がみられる。 |
| 重点項目③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8） |
| | 家族の来訪時に声かけして意見や要望の把握に努めている。苦情相談の窓口は掲示等で知らせている。利用者の暮らしぶり等を家族へ発信するための園だより等発行の取り組みがない。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携（関連項目：外部3） |
| | 小・中学生や地域のボランティアなど積極的に受け入れている。また、ホームで開催するサークルについては、小規模多機能型居宅介護事業所の利用者、地域の住民等受け入れる体制ができている。自治会へ入会するなど地域との交流に努めている。 |